

青年国際交流事業で船を用いる意義

船の特徴	内容	直接的効果	政策的意義
非日常性	日常生活や既存の社会的役割から切り離された空間	参加者が肩書・立場を一時的に離れ、集中できる環境を形成	意識変容の促進
密室性	第三者が介在しにくく、継続的な対話と協働が求められる空間	率直な対話・摩擦・協働を通じた関係構築	信頼関係と実効的なネットワークの形成
機能性	移動・宿泊・研修・交流を一体的に実施できる機能	限られた期間で集中的・計画的なプログラムが実施可能	効率的な事業運営，プログラム効果の最大化
大規模性	多数の参加国・参加者が同一期間・空間で参加可能	重層的・多角的な異文化接触の機会を創出	多様性・異文化理解の促進，広域的・多角的なネットワークの形成
象徴性	海洋国家である日本の青年育成・国際交流を象徴する我が国独自の事業	長年の実績による国際的認知・信頼・ネットワークの蓄積	日本独自の事業として対外発信力・優秀な参加者の誘引に寄与